

6月 14日

湖上から霞ヶ浦周辺の歴史地区を視察



2艘の巡視船で歴史的名所を訪れた参加者(安食沖)

水運が盛んな時代に想いをはせて 郷土資料館では、国土交通省の巡視船に乗って湖上からふるさとの文化財や史跡などを見学する歴史探訪講座を開催しました。

講座では、志戸崎漁港を出発し、田伏城跡、富士見塚古墳群、西宮神社や稗倉河岸(小美玉市)、三昧塚古墳や高須崎の一本松(行方市)など16カ所の高浜入りを巡るコースを見学しました。

霞ヶ浦沿岸地域に残る自然景観や歴史的資源を知り、参加者は新たなかすみがうらの魅力に満喫していました。

郷土資料館では、今後も「湖上からみる霞ヶ浦歴史探訪講座」の実施を計画しています。詳しくは、9月に発行される「マナビイかすみがうら後期講座」をご参照ください。

「地域の産業を知ってもらいたい」と体験事業

6月 16日

佐賀小でキュウリのもぎ取り体験 佐賀地区公民館主催の地域産業体験事業として、佐賀小の2年生から4年生までの61人が田伏の鈴木信義さんを訪れて、キュウリのハウス栽培を学び、もぎ取りを体験しました。

これは、身の回りの産業を改めて児童に知ってもらい、郷土愛を育てて将来の担い手作りを目的に今年度から始めた事業で、今回はその第1弾。鈴木さんから、キュウリの特徴や栽培方法、おいしい食べ方などを学び、「がんばって勉強すれば、将来もっとおいしい物が作れますよ」と激励されました。

子どもたちは、キュウリのトゲにびっくりしたり、新鮮な野菜を丸かじりした美味しさに感激していました。

佐賀地区公民館の事業第2弾には、霞ヶ浦の恵みを生かした産業の体験が計画されています。



キュウリを手に収穫をよろこぶ佐賀小の子どもたち

6月 30日

レジ袋無料配布が中止



レジ袋を使わない運動を展開する市ごみ減量推進会議の皆さん

7月1日からのレジ袋の無料配布が中止されることを市民に知らせてもらおうと、市内の協賛店前で啓発活動が行われました。地球温暖化防止の取り組みとして、レジ袋を使わないようにしましょう。

野草をたべよう!

6月 20日



天ぷらにした19種類の野草の中ではスナック菓子のような味のするアカザが一番人気

雪入ふれあいの里公園で、自然公園指導委員の矢野徳也先生の指導のもと、林道に生い茂る野草を摘んで食べる試みが行われました。参加者は、雑草としか認識していなかったクヌギやアカザの味に興味津々でした。

最重量優勝

2人で7.75 kg



武田諒太くん(新治小3年)、誠さん 「3回目の参加。いっぱい釣れたので近所におすそ分けします。家では塩焼きにして食べます!」

大物 教育長賞

50 cm



生井優大くん(下稲吉東小6年)、勝男さん 「2回目の参加。大物を釣り上げたことより、たくさん釣れたことの方が嬉しかった。大物は塩焼きにして食べます!」

その他の成績

準優勝	7.42 kg	萩原実優・勝之	親子(新治小)
第3位	7.40 kg	鈴木詩織・和幸	親子(美並小)
第4位	7.03 kg	君山延之・梨乃・一夫	親子(七会小)
第5位	5.30 kg	横田朋佳・勉	親子(上佐谷小) 【敬称略】

雪入川で ニジマスつり放題 市子ども会育成連合会(機部正直会長)主催の「親子つり大会」が雪入川で開催され、雨の中269人の親子がつりを楽しみました。

魚は、栃木県大田原市から運ばれたニジマス550キロ。当日の朝、同会のメンバーにより、水門で区切られたおよそ250メートルの区間に放流されました。

つりタイムの後、水門が上げられ、浅く戻った川の中で、子どもたちはつかみ取りに挑戦しました。

花壇へ植栽

市内の花壇へ 2万8千本を植栽 5月31日～ 7月末が見頃

6月5日に植栽を行なった4Hクラブの皆さん。35歳以下の農業従事者で構成されるクラブとあって、手際よく苗が土に収まっていきました。



優良管理者を表彰します! 市緑化推進協議会では、見事に管理されている花壇管理者(団体)の表彰を毎年行なっています。

かすみがうら花のみちの歴史

平成10年 地元行政区・環境美化委員会、環境美化ボランティアらにより、3kmの区間にパンジー・デージー4千本を植栽。

平成11年 3.5kmの区間に1万5千本のパンジーを植栽

平成12年 第28回花と緑の環境美化コンクールで県知事賞を受賞。マリーゴールドとパンジーの2期作に挑戦。

平成13年 町内各地のボランティアにより、5.3kmの区間にマリーゴールド3万本を植栽。花壇の愛称を募集し「かすみがうら花のみち」に決定。(以降、現在にいたる...)

「かすみがうら花のみち」や千代田地区内の花壇で、市民ボランティアの皆さんにより花の植栽が行われています。

花のみちは、平成10年に市道0109号線(西成井・神立線)の道路改良に伴い地域の方々を中心に植栽したのが始まり。今では、百を超える企業・団体・個人などのボランティアが全長約5キロメートル273区画の花壇に1万8千本のマリーゴールドを植栽しています。

また、千代田地区では、行政区、老人クラブ、子ども会など25団体が地区内に点在する沿道の花壇にマリーゴールド・サルビア合わせて1万本を植栽しました。

花のみちの市民ボランティアを随時募集しています。市民みんなで花いっぱいのもちを作しましょう!